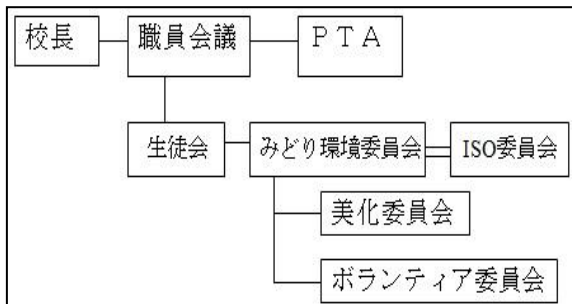


# 平成 28 年度木山中学校版 ISO の取組

## 1 今年度の組織及びISO宣言

### 1) 組織



### 2) 宣言

生徒	職員
<ul style="list-style-type: none"> <li>水道水の無駄遣いをなくします。</li> <li>光熱費の節約に努めます。</li> <li>トイレトペーパーの無駄遣いをなくします。</li> <li>無言清掃を行います。</li> <li>花壇整備に努めます。</li> <li>PTAと連携して、環境整備に努めます。</li> <li>はるかのかのひまわりプロジェクトを執行部中心に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道水の無駄遣いをなくします。</li> <li>光熱費の節約に努めます。</li> <li>トイレトペーパーの無駄遣いをなくします。</li> <li>紙の再利用に努めます。</li> <li>ゴミの分別を行います。</li> <li>保護者・地域と連携して環境整備に努めます。</li> </ul>
<b>数値目標：昨年度と比較して節電・節水への意識が高まった生徒・職員の割合80%以上</b>	

4月当初、執行部を中心にISO宣言を生徒がつくり、それに伴った活動を進めていく計画だった。しかし、4月14日・16日の未曾有の震災により、計画も全て白紙となった。学校再開後、私たちは自然の力のおそろしさと当たり前に行える生活の有り難さを痛感しながら生活を送っている。ISOに関する取組において、組織はみどり環境委員会を中心に、例年、環境に関する活動を進める委員会で活動を振り分けることにしている。昨年度に引き続き、他の委員会にも活動を広げ、ISO活動を更に展開できないか検討を進めた。今年度は震災の影響もあり、電気・水道使用量の数値的な削減は難しい状況があったため、意識調査を結果に表すこととした。

## 2 行動

### 1) 生徒の取組

#### ①委員会での活動

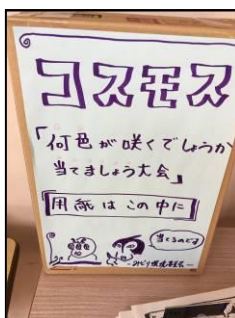
委員会	ISO宣言に関する活動
みどり環境	電気・水道使用量チェック、呼びかけポスター作成、花壇整備
美化	無言清掃コンクール、無言清掃呼びかけ、節水・節電の清掃
ボランティア	ペットボトルキャップ集め、呼びかけポスター作成
給食	残菜調査、お盆洗いチェック
放送	昼休み節電呼びかけ放送
図書	環境に関する図書の分類

[みどり環境]

a：節電・節水の呼びかけポスター



b：花壇整備



支援でいただいたコスモスの栽培を進めた。



[美化]

学校周辺の用水路を清掃し、ポスターを掲示してポイ捨て禁止の喚起を行った。また、無言清掃チェックを継続して行っている。



[ボランティア]

ペットボトルをクラスマッチ形式で回収した。



クラスマッチ形式にすることで、生徒たちの意識も高まっているが、課題として普段の生活に生かしているかという点はまだ改善の余地があるように感じる。自分たちで気づき、行動に起こす実践力を養っていければと思う。

②はるかのひまわり絆プロジェクト

震災からの復興への活動としてひまわりを育てることで木山中生、益城町の方々に元気を出してほしいという願いから、平成26年度卒業生の呼びかけで始めたはるかのひまわり絆プロジェクトを在校生が引継ぎ、ひまわりを育てた。

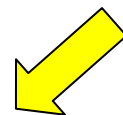
a : 植え

卒業生や在校生、職員100名以上が6月に植えを行った。



b : ひまわりタイム

これまでのクリーンDay（9の付く日にボランティア活動）をひまわりタイムとして、草取りや水かけを行った。



c : 成長記録

夏休み期間中も委員会ごとに割り振り、水かけや草取りを行った。その結果、想像以上にひまわりが咲き、復興のシンボルとなった。



<参加人数>

	1年		
	1組	2組	3組
①	4	5	5
②	8	16	11
③	1	19	9
④	9	17	13

	2年		
	1組	2組	3組
①	9	7	11
②	11	7	13
③	15	7	15
④	15	10	15

	3年		
	1組	2組	3組
①	4	13	10
②	0	3	6
③	0	1	0
④	2	6	5

d : 卒業生と在校生のつながりを深める

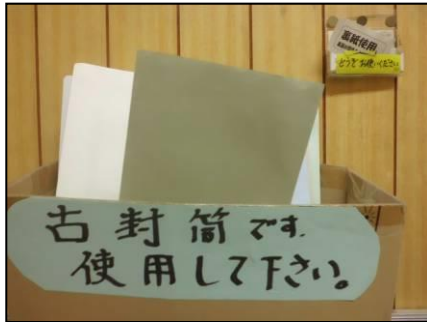


生徒集会やリーダー研修で卒業生から感謝の言葉をもらった。また、支援への返事に同封し、種を送り、活動を広げた。

## 2) 職員の取組

[ミスプリント・使用済み封筒の再利用]

裏紙を保存し、リサイクルを進めた。  
教師用と生徒用に分けることで活用しやすくした。



[ゴミの分別]

生徒同様にペットボトル  
キャップの回収に努めた。



[節電・節水の取組]

節水を意識付けるために  
水道に掲示している。



職員と生徒間で節電・節水を意識した生活を送ることで、お互いにチェックできる体制もできている。弁当給食になり、割り箸などを回収し、余計なゴミや不要物を増やさない取組もできた。

震災により、多くの支援物資を全国各地、また世界各国からいただくこととなり、これらを配分して、無駄がないようにしていかなければならない。「たくさんある」という意識をつくらないように普段の生活から震災を通して見直すべき点は改善していかなければならないと感じている。

## 3) P T A ・ 地域との連携した取組

[夏季休業中の除草作業]

夏季休業中に2学期にずれ込んだ体育大会に向けて保護者と一緒に除草作業に取り組んだ。例年では5月に開催していた体育大会前に除草作業をしていたが、今年度はできなかつたため、ボランティア、保護者の方々、職員が夏期休業中に少しずつ除草作業を行った。体育大会前に除草作業ができ、体育大会も成功することができた。



## 4 成果と課題

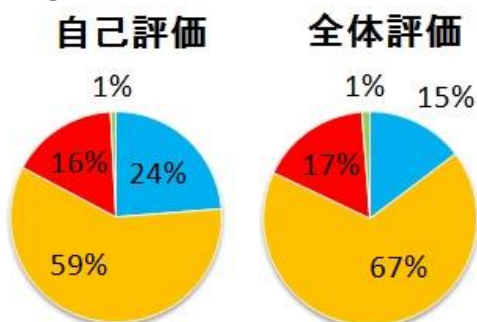
今年度、新たな取組も増え、継続できるようにしていきたい。また、ISO宣言を確実に周知徹底できる場を設け、生徒会全体で取り組めるように企画・運営を進めたい。

### 1) 実際の水道・電気使用状況より

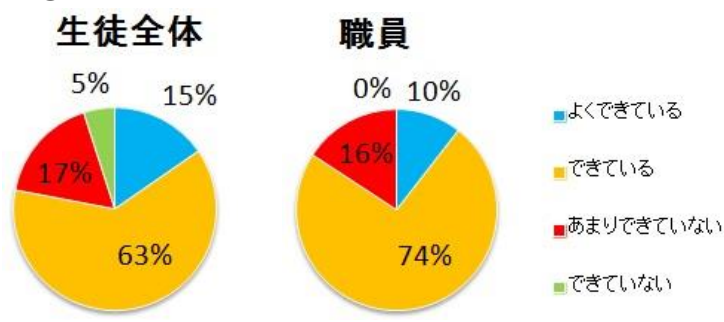
震災により、検針も困難な状況にあり、水漏れ対策工事なども重なり、昨年度との比較対象にならなかった。来年度は昨年度との比較ができると思う。今年度は引き続き、委員会活動を中心に節電・節水の取組を継続していきたい。

### 2) アンケート結果より（全学年262名）

#### ①無言清掃について



#### ②節電・節水について



無言清掃に関しては継続的な取組ができてはいるが、現在、1週間に数回、無言清掃を行う日を定めている。今後は委員長を中心に毎日行うようにする予定である。自己評価と学校全体の評価での差を埋めることができると考える。

節電・節水についてはほぼ8割近い生徒ができていますと評価している。その理由としては「地震があって、水の大切さが分かり、こまめに水道を止めるようになった。」などと震災を通して学んだことを実践に移している。中には「意識しているが、行動できていない」という意見もあり、今後ISO宣言の見直しや活動内容の充実を図り、9割以上の生徒・職員が意識して活動できているとしたい。

### 3) 委員会ごと

委員会	成果	課題
みどり環境	花壇整備などを計画的に行い、環境整備に取り組んだ。支援の花を咲かせ、コスモス大会を開催した。	更に花を増やし、節電を呼びかける。
美化	無言清掃コンクールだけではなく、継続的なチェックを行う体制が出来つつある。	無言清掃を毎日に行えないか検討する。
ボランティア	ペットボトルキャップ集めでたくさん集めることができた。	新たな取組を考える。
給食	弁当給食というこれまでと違う状況の中で残菜調査を行い、呼びかけができた。	学年によって差がある状況にある。
放送	昨年に引き続き、昼休み節電呼びかけ放送ができ、節電の意識付けができた。	今年度新たな取組ができたので、別の取組の呼びかけを行う。
図書	震災後の取組を継続しているところである。	図書の整理とコーナーをつくる。

### 4) はるかのひまわり絆プロジェクト

畑作りから始めたプロジェクトであったがPTAの方々や卒業生、在校生、職員の方で夏期休業中には大輪の花を咲かせることができた。通学路に咲くひまわりを横に登校する生徒の笑顔が印象に残った。今後は新執行部を中心に取組を引き継ぎ、震災からの復興へ動き出した一歩として忘れないようにしていきたいと思う。





